

大嶺の吾妻のふもとから
～2024 校長室だより～
Vol.8 11月20日



校長室にある本校の記念誌などを開くことがあります。たくさんのモノクロ写真の中にいる先生方や生徒の皆さんの、真摯に勉学に取り組む姿や明るい笑顔を見ることができ、生きる時代は違っても高校時代の「今」を一生懸命過ごしていることが伝わってきます。

私も昔むかしを振り返れば高校生でした。勢いあまって高校の卒業アルバムを久しぶりに開きました。そして夢中で過ごした高校時代を思い出し、今の自分を作ってくれた、あの時の自分にエールを送りたいと思いました。

私たちに求められる、人としての「知・徳・体」は、短い時間で身につくものではなく、夢中になって何かに打ち込み、考え、悩みながら一生懸命過ごす「今」を、地道に積み重ねていくことで備わっていくものです。嬉しいことも悲しいことも、そして夢中になって持てるエネルギーを出し惜しみせずに駆け抜けている経験も、必ずや自分の糧となり人生を歩む中で「カベ」を乗り越える力になります。無駄なように思えしっかりと向き合っただけでなかったようなことが、人生のターニングポイントで自分の妨げになることも、私は経験してきました。

目の前にある「しなければならないこと」に誠実に向き合いながら、「やりたいこと」「なりたい自分」を思い描いて毎日を過ごし、自分を高めていこうとする姿は尊く、輝いています。進路目標に向けた教科の勉強、大好きなスポーツに打ち込む部活動、科学者の卵としての研究活動、地域活動、読書、ものづくり、ICT、ボランティア…。興譲館には、皆さんの「今」を応援し、切磋琢磨できるフィールドがたくさんあります。そのフィールドを最大限に活用してください。そして挑戦してください。自分の可能性をとことんまで追求してみてください。

「今」の先には「未来」があります。皆さんが「今」を積み重ね、興譲館という学びのフィールドで培ったものを未来の社会で惜しみなく発揮し、大切な存在として活躍することを楽しみにしています。

（「興譲館だより」再掲）

